

ぽれぽれ通信

トングデモ科学を

国会で追及！ーその①ー

7・8月号
vol.77



トンデモ科学・エセ科学の闇を 国会で唯一追及した山本！

「自衛隊が大変なことになっていますよ！」と、地元の有権者から一報が入ったのは、1月22日の夜だった。何のこともだかわからない山本は「どうしたのですか？何があったのですか？」と返した。聞けば、巷でトンデモ科学や疑似科学、エセ科学との指摘がある「NMRパイプテクター（以下、パイプテクター）なるものを自衛隊が導入しようとしている、ということであった。パイプテクターを知らなかった山本は、早速調べてみたところ、確かに巷では、その効果や性能に対して懐疑的な指摘が散見された。そもそもパイプテクターとは、製造会社（日本システム企画株式会社）によると、『建物の中にある、給水管や空調管など水配管の寿命を建

物寿命まで延命する。独自の工法で配管内の新たな赤錆発生を防止し、既存の赤錆を水に溶けない黒錆に還元し配管内を更生します。実際のご導入の際は断水工事は不要、配管を切らずに数時間で設置が可能です。さらに配管内の水に装置が直接接触せず、衛生的で安心・安全という優れた機能を備えています』と謳っていた。つまりマンションなどの給水管の外側にパイプテクターを付ければ、赤錆を黒錆に変えるなどにより水質が向上し、且つ配管そのものも延命できるというのである。にわかには信じ難いと感じた山本は、自衛隊が導入しようとしているということに関して調べてみたところ、確かに、陸上自衛隊の練馬駐屯地が、空調配管内赤錆防止を目的と

して、防錆装置を公募する一般競争入札が実施されていた。しかし、その一般競争入札の仕様書の中で、特記事項として以下のように記されていた『配管保護装置の規格は以下のとおりとし、新品とする。日本システム企画（株）PT-125DS NMRパイプテクター125Dまたは、上記製品と同等以上の性能を有すると官側が認めた製品。すなわち、5℃～50℃の水に対し、鋼管越しに水と非接触でゼーマン分裂を起こせる磁場を生じる品質の磁石を内蔵し、無電源で核磁気共鳴を生じるに十分な電磁波を黒体放射により供給可能な製品で呼び径125Aの配管用炭素鋼鋼管に装着しうるものとする』。賢明な読者であれば、直ぐに気が付くと思われる

が、この仕様書を見ると、どう考えても、パイプテクター以外あり得ないのではないかというような特記事項になっていた。加えて、無電源、つまり電源も無しに電磁波を供給し続けるというのである。これは、エネルギーが無から生じることはないという、熱力学第一法則に全く反している。仮に事実であれば、世紀の大発見と言うべきだろう。しかし、そのような大発見があったと言う報に接していない山本は、1月23日に防衛省の担当者に練馬駐屯地の一般競争入札は、既に公告を行っているが、止められるのであれば、止めた方がよいのではないかと提案した。防衛省は全国各地の駐屯地や基地が、どのような入札をしているのか全てを把握している訳

ではないので、山本から指摘された際もそのような入札をしているのですか？と驚きを隠さなかった。結果、1月24日には、パイプテクターの一般競争入札は取り消しになった。

パイプテクターの 撤去は確定したが

他方、全国各地の防衛省・自衛隊に既に導入されていないか確認するようにも提案していた。全国の全ての施設を確認するためにはしばらく時間は掛かったが、2月上旬には、陸上自衛隊秋田駐屯地・神町駐屯地、防衛医科大学校にそれぞれ設置されていることが判明した。山本はそれらの導入経緯も質したが、いずれも随分前のことで当時の資料も

残っておらず、どのような経緯で設置したのか分からず終いであった。但し、効果も良く分らない、設置の経緯も良く分らないものをいつまでも防衛省・自衛隊の施設に設置しているのは適切ではない、と山本が撤去すること提案したところ防衛省としても適切な時期に撤去したいとの回答を得た。本来であれば、これで一安心というところであるが、話はこれで終わらなかったのである。

防衛省・自衛隊に設置してあるパイプテクターの撤去が決まり、予定されていた入札も取り消しになり問題が解決し

たと思いきや再び有権者の方から「自衛隊だけではないですよ。外務省や国交省にもパイプテクターが入り込んでいます」との通報があった。耳を疑った山本は、早速事実関係を外務省と国交省に確認し



▲自作のロゴマークを掲載した広告チラシ



自由民主党・無所属の会
山本ともひろ

▲内閣委員会で質疑に立つ山本

たところ、在モンゴル日本大使館、在英日本大使館、在米日本大使館の計三つの在外公館で設置されていること

が判明し、国土交通大学校においても設置されていることが判明した。加えて、両省ともにパイプテクターの効果については分からないと言いついたのである。少なくとも外務省は配管の赤さび対策としてパイプテクターを導入したという経緯は判明したが、国交省は防衛省と同様に古い話で文章も残っておらず、導入の経緯は分からないというところであった。またしても効果が分からないにも関わらず、行政機関がパイプテクターを設置していたのである。

パイプテクターを 国交省が認めている？

また巧妙なことに国交省の新技术活用システム（NETIS）に登録し、有りもしない

NETISのロゴマークを自作し、そのマークをパイプテクターの広告チラシに刷り込み、且つ「国交省登録装置」と謳うなど、それを見た人には、国交省のお墨付きを得ているものと思込ませるような広告チラシを作る徹底ぶりであった。実際、山本が防衛省にパイプテクターの件を指摘した際には、担当者が「困ったことに、この商品は国交省の認定を受けています」と言い出すほどであった。後に確認したところ、このNETISという制度は、申請すればNETISに掲載されるが、その掲載された技術に関する証明、認証その他何ら技術の裏付けを行うものではなく、新技术活用に当たつての参考情報といった性格のもので、申請情報は、技

術開発者からの申請に基づく情報であり、その内容について、国土交通省及び評価会議（整備局等）が評価等を行っているものではないことが判明した。防衛省の官僚ですら広告チラシを見て、国交省がお墨付きを与えているものと勘違いしたのである。

以上の防衛省・自衛隊や外務省、そして国交省とのやり取りを山本が日頃の活動でも行っているようにSNSで発信をしたところ大きな反響があり、大学の教授や地方議員、そして有権者などから「パイプテクターの実体を解明して欲しい」、「資料があるので山本事務所に届けたい」、「居住しているマンションに設置されているので何とかしたい」、「防衛省・

自衛隊で撤去するパイプテクターを分解して中身を確認して欲しい」、「マンションの管理組合が設置しようとしているので止めて欲しい」、「日本システム企画株式会社がHP上で山本議員の批判をしている」など様々な声が山本事務所に届き始めたのである。このように実は、今まで山本が知らなかっただけで、既に様々な場所でパイプテクターの問題は取り上げられていたのである。

関係省庁と対応を協議し解決策を練る

山本事務所に寄せられた声の中には「困っているのを助けて欲しい」や「マンションに設置されようとしているので止められないか?」、「詐欺

ではないのか?」などの悲痛な声も多数あった。そこで、山本は消費者庁に消費者保護の観点から困っている人たちをどうにかして助けられないか協議を始め、続いて経産省と詐欺に当たらないのか協議を行い、警察庁とも問題解決に向けて協議を行った。

今回のパイプテクターの件は、最終的に警察マターになると判断した山本は、警察庁を所管する衆議院内閣委員会において正式に取り上げ、この成り行きと顛末を議事録に残す方法で世に広く知らしめることによって困っている人たちの助けになりたいと委員会では質疑を行うことにした。質疑の内容は紙面の都合上次号に掲載する。続報を待たれよ。



駅で「ぽれぽれ通信」をお配りしております

駅頭活動報告

「頑張って下さい!」「お久しぶりです」「国会見学のお知らせ有難うございました。でも日程が合わなくて残念です」など本日も沢山のエールを頂きました。皆様、誠に有難うございました!

朝の6:30~8:30までの2時間にわたり、4区内の下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞆と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



前回の「ぽれぽれ通信」配布数

3月・4月集計分

駅名	3月	枚数	4月	枚数	前月比
逗子駅	5日(火)	283	—	—	—
逗子・葉山駅	11日(月)	224	3日(水)	205	↓
鎌倉駅(東口)	4日(月)	239	—	—	—
鎌倉駅(西口)	—	—	2日(火)	229	—
大船駅(西口)	27日(水)	228	—	—	—
大船駅(モノレール口)	7日(木)	177	5日(金)	183	↑
大船駅(東口)	22日(金)	226	8日(月)	240	↑
大船駅(笠間口)	13日(水)	213	10日(水)	208	→
本郷台駅	15日(金)	277	—	—	—
港南台駅	—	—	—	—	—
	3月配布合計	1867	4月配布合計	1065	↓

簡単にアクセス
できます!

X (旧Twitter) facebookは本人がやっています

専用のアプリをダウンロードして右のQRコードを読み取りください。(iPhone除く)



HP

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 令和3年 自民党 文部科学部会長 就任

自由民主党
衆議院議員 (5期 15年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)
昭和50年(1975年)生まれ
49歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

国会見学案内実施中!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。



ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くなる...。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-22-2 つるやビル 301
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和6年(2024年)7月1日発行 第77号

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。